

# SONY

## ラジオカセットプレーヤー

3-861-031-01(2)

### 取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

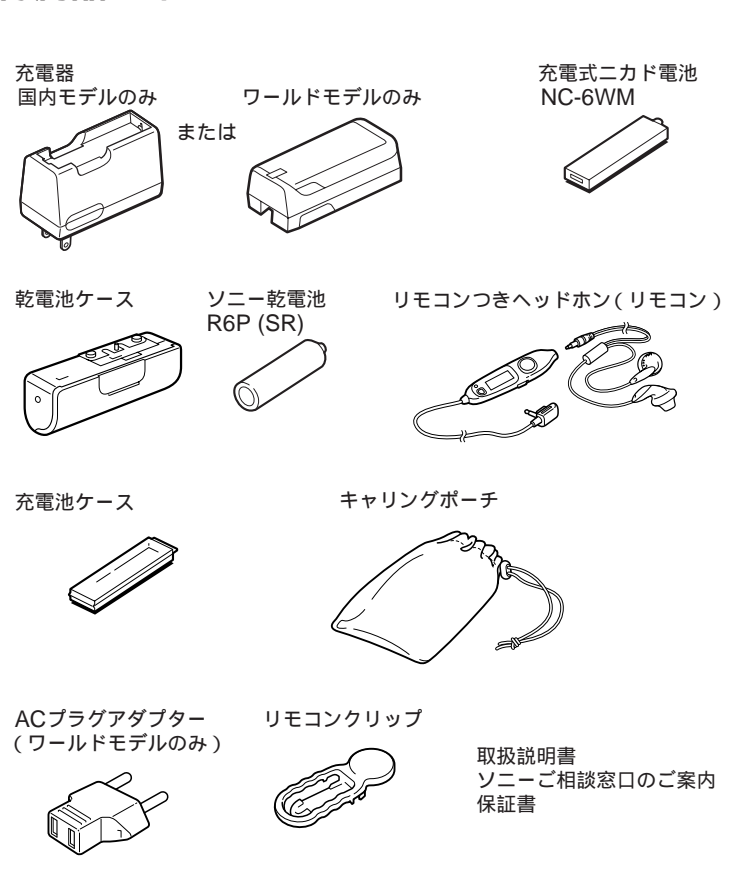
### WM-FX855 WALKMAN

WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。  
WALKMAN is a registered trademark of Sony Corporation.  
Sony Corporation ©1997 Printed in Japan

### 主な特長

- ワンタッチで自分の地域の放送局が呼び出せる、オートステーションプリセット(ASP)。
- 聞きたい1曲を繰り返し聞ける、曲おぼえ1曲リピート。
- 前後9曲の頭出しが簡単にできる、AMS。
- 再生、停止、早送り、巻き戻しが1つのボタンで操作でき、ラジオも操作できる、液晶表示付き小型リモコン。
- 重低音を強化した、ベースエキサイトチップ採用ヘッドホン。

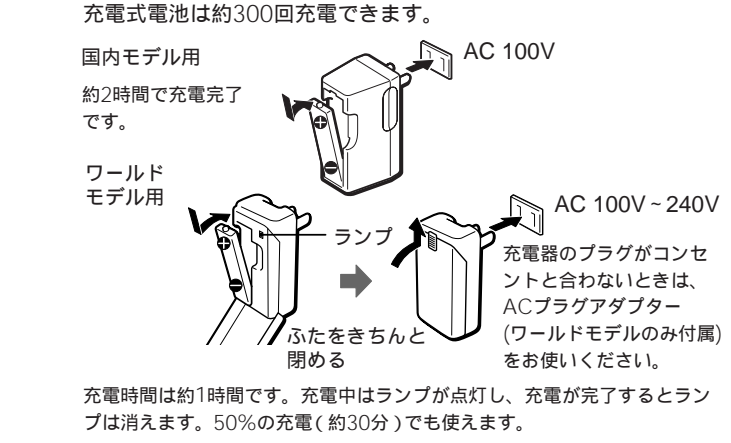
### 付属品を確かめる



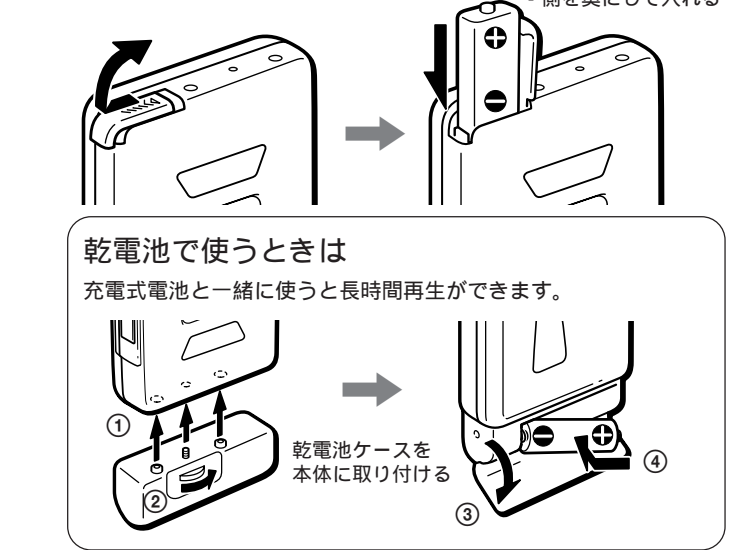
## 準備する

ここでは充電式電池または乾電池での使いかたを説明します。お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。コンセントでの使いかたは、裏面の「電源」をご覧ください。

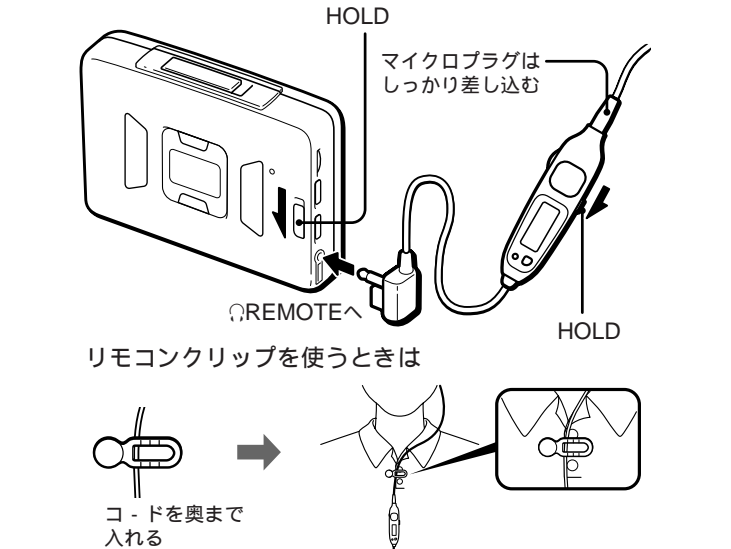
### 1 充電式電池を充電する



### 2 充電式電池を入れる



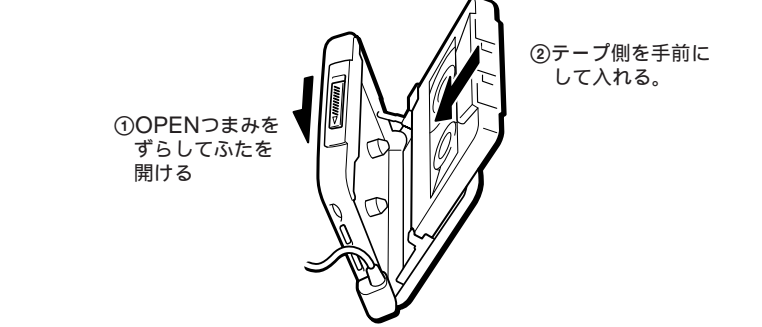
### 3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する



## テープを聞く

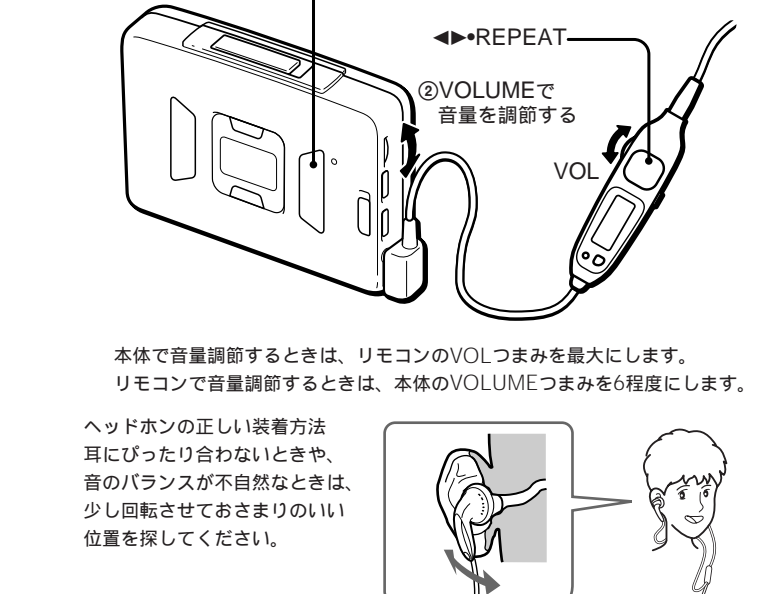
TYPE I (ノーマル)、TYPE II (ハイポジション)、TYPE IV (メタル)のテープを自動的に判別し、再生します(オートテープセレクター機能)。

### 1 カセットを入れる



1 テープ動作中はOPENつまみをずらしてもふたは開きません。

### 2 再生する



### その他のテープ操作

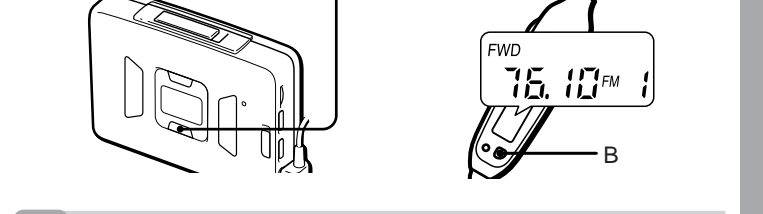
操作	押すボタン	動作の確認音とリモコン表示
再生面の切り換え	再生中に ◀▶• REPEAT	ふた側 (FWD) の面スタート ビ 本体側 (REV) の面スタート ビビ
停止	■	ビ
早送り	停止時にFF•AMS	ビ
巻き戻し	停止時にREW•AMS	ビ
聞いている曲を繰り返し再生 (1曲リピート)	再生中に ◀▶• REPEATを 2秒以上 (解除するには もう一度押す)	ボタンを押したときと巻き戻し中にビビビ (巻き戻し中は繰り返す) 「REP」表示が点灯し、巻き戻し中は点滅
早送りして反対面を再生	停止時にFF•AMS を2秒以上	ビ ビ ビ、ビ、...
巻き戻して最初から再生 (オートプレイ)	停止時にREW•AMS を2秒以上	ビ ビ ビビ、ビビ、...

上記以外のテープ操作は、「テープを聞く - 応用」をご覧ください。

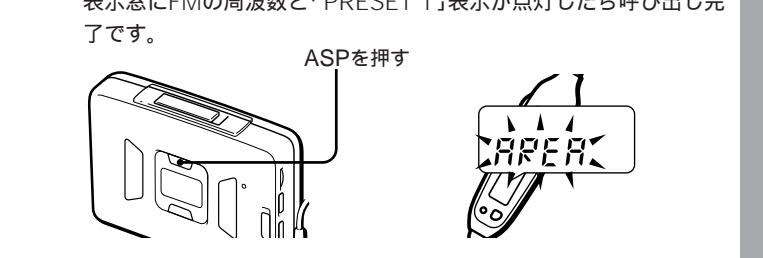
## ラジオを聞く

今いるところで聞ける放送局を自動的に呼び出します。まず最初に受信状態の良いところで操作してみましょう。

### 1 ラジオをつける



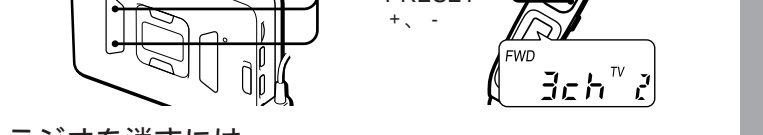
### 2 聞ける局を呼び出す



### 3 AM、FM、TVを選ぶ



### 4 放送局を選ぶ



### ラジオを消すには

RADIO OFF (■) を押しします。

### 次にラジオを聞くと

呼び出した放送局は記憶されています。同じ地域で聞くとときは、手順2の操作は不要です。放送局が異なる地域で聞くとときは、手順1~4をやり直します。

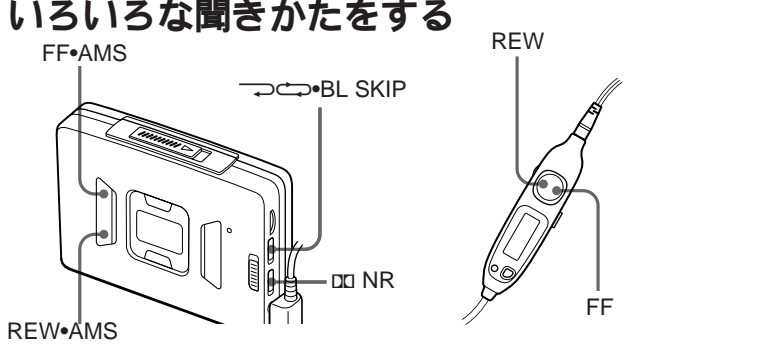
### 受信状態をよくするには

#### AM放送

アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、聞きやすいように調節します。

FM、TV放送  
ヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけのばして使います。

### テープを聞く - 応用



### 好きな曲を頭出しする(オートミュージックセンサー)

再生中にFF•AMSまたはREW•AMSを、とばしたい曲の数だけ押します。最大9曲までとばすことができます。

操作	押すボタン	動作の確認音とリモコン表示
早送りして何曲か先の曲を再生	再生中にFF•AMSを とばしたい曲数押す	ビ ビ ビ... 「AMS」と「FF」の表示が交互に点灯し、とばす曲数が点灯
巻き戻して何曲か前の曲を再生	再生中にREW•AMSを とばしたい曲数押す	ビ ビ ビ... 「AMS」と「REW」の表示が交互に点灯し、とばす曲数が点灯

### テープ走行のしかたを選ぶ (テープの走行方法とブランクスキップ)

本体側面の◀▶•BL SKIPスイッチを使います。両面を繰り返し再生するときに、曲間の長いあきをとばして次の曲の頭出しをします(ブランクスキップ)。

操作	◀▶•BL SKIP スイッチの位置	動作の確認音と リモコン表示
両面を繰り返し再生 (長いあきをとばす)	◀▶ON	あきをとばすときに、ビビ、ビビ、... 「SKIP」表示が点滅
両面を1回再生*	▶OFF	-

\*本体側 (REV) の面から始めたときは、本体側 (REV) の面のみを再生します。

ブランクスキップが正しく動作しないことがあります  
ブランクスキップ機能では曲間に12秒以上のあきを見つけると、早送りして次の曲を再生しています。録音した機器によっては曲間のあきが完全な無音部分にならないために、ブランクスキップ機能が動作しないことがあります。また、小さい音が長く続く部分があると、曲の途中でも早送りすることがあります。その場合には、▶•BL SKIPスイッチを▶OFFにしてください。

### ドルビー•B NRで録音したテープを聞く

本体側面の◻NRスイッチをONにします。録音の特性にあわせた再生ができます。ドルビー•B NRを使わずに録音したテープの場合にはOFFにします。

\*ドルビーノイズリダクションはドルビーラトリスライゼンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。  
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号◻はドルビーラトリスライゼンシングコーポレーションの商標です。

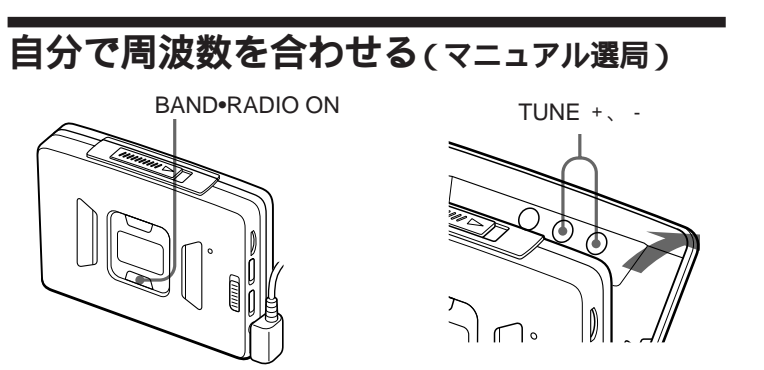
### ラジオを聞く - 応用

#### ラジオを聞くときの注意

受信するとき  
•このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため、一部の地域ではテレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービ窓口にご相談ください。  
•本体やリモコンを他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、本機のラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。  
•一部が金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなる場合があります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

ステレオ放送を聞くとき  
FMのステレオ放送を聞くときは、本体側面のFM ST/MONOスイッチをST (ステレオ) に合わせます。雑音が多いときはMONO (モノラル) にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。また、AM、TVはステレオにはなりません。

### 自分で周波数を合わせる (マニュアル選局)



- BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける
- BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押してAM、FMまたはTVを選ぶ
- TUNE +、- を繰り返し押して表示窓を見ながら周波数を合わせる  
TUNE +または- ボタンを長めに押すと、電波が強い放送局を自動的に受信して止まります(自動選局)。電波が弱いときは、ボタンを繰り返し押して周波数を合わせてください。

- BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける
- ENTERボタンを押して、周波数表示、「PRESET」表示とプリセット番号表示を点滅させる
- 「AREA 1」表示が点滅するまでBAND•RADIO ONボタンを押し続けたままにする
- 表示の点滅中にPRESET +または- ボタンを繰り返し押して1~8またはJRのエリア番号を選び、ENTERボタンを押す
- BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押してAM、FMまたはTVを選び、PRESET +または- ボタンでプリセット番号を選んで受信する

### 自動で受信して記憶させる(オートメモリスキャン)

受信できる局を自動的に記憶させます。AM、FMまたはTVを各8局まで記憶できます。受信状態の良い場所で操作してください。



- BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける
- BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押してAM、FMまたはTVを選ぶ
- 「A」表示が出るまでENTERボタンを押し続けたままにする  
受信できる放送局が自動的に記憶されていきます。
- PRESET +または- ボタンを押してプリセット番号を選んで受信する

電波が弱いときは記憶できる放送局が8局以下になる場合があります。  
エリア番号を切り換えると放送局の記憶は右の表のプリセット番号の内容に戻ります。

### 放送局を自分で設定する

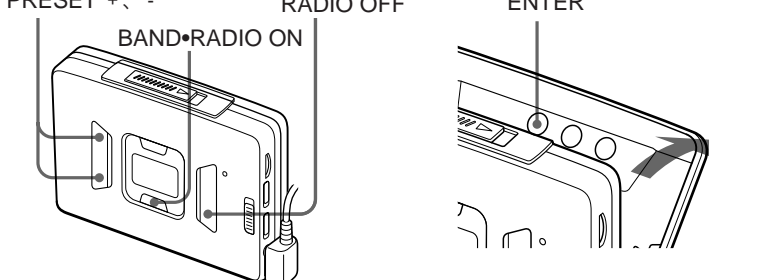
#### まず設定のしかたを選ぶ

本機には全国8地域と新幹線の主な放送局がエリア番号に記憶されているので、エリア番号を選べば、すぐに受信できます(エリアコール機能)。  
通常は、ASP(オートステーションプリセット)ボタンを押すと、今いる場所のエリア番号を自動的に選び、エリア番号が選べない場合は、その場所で受信できるAM、FM、TV局を自動的に探してプリセット番号に記憶していきます(ASP機能)。  
ASP機能で記憶させた以外の放送局を手動で記憶させたり、放送局を変更したりする場合は、下の表にしたがって自分に合った方法を選んでください。

どうしたいか	ここを見てください
ASPで選ぶことができなかった	エリア番号表の放送局を受信したい
↓	「自分でエリアを合わせる(マニュアルエリアコール)」
今いる場所で受信できる局を自動で記憶させたい	「自動で受信して記憶させる(オートメモリスキャン)」
↓	「手動で受信して記憶させる(マニュアルメモリー)」
1つ1つ手動で局を追加、変更、削除したい	裏面の「自分用のエリアに保存する(エリア11)」

#### 自分でエリアを合わせる(マニュアルエリアコール)

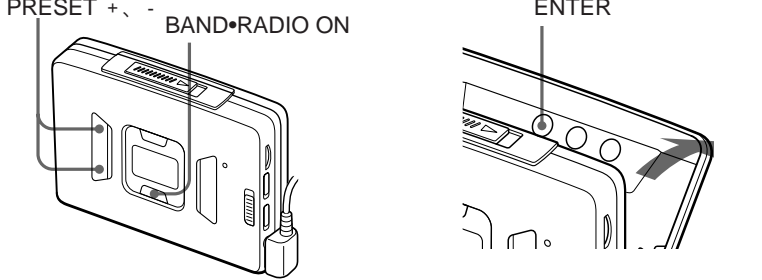
1~8またはJRのエリア番号を選ぶと、右の表にある放送局が一度に記憶されます。



- BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける
- ENTERボタンを押して、周波数表示、「PRESET」表示とプリセット番号表示を点滅させる
- 「AREA 1」表示が点滅するまでBAND•RADIO ONボタンを押し続けたままにする
- 表示の点滅中にPRESET +または- ボタンを繰り返し押して1~8またはJRのエリア番号を選び、ENTERボタンを押す
- BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押してAM、FMまたはTVを選び、PRESET +または- ボタンでプリセット番号を選んで受信する

### 自動で受信して記憶させる(オートメモリスキャン)

受信できる局を自動的に記憶させます。AM、FMまたはTVを各8局まで記憶できます。受信状態の良い場所で操作してください。



- BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける
- BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押してAM、FMまたはTVを選ぶ
- 「A」表示が出るまでENTERボタンを押し続けたままにする  
受信できる放送局が自動的に記憶されていきます。
- PRESET +または- ボタンを押してプリセット番号を選んで受信する

電波が弱いときは記憶できる放送局が8局以下になる場合があります。  
エリア番号を切り換えると放送局の記憶は右の表のプリセット番号の内容に戻ります。

### エリア番号表(エリアコールの放送局一覧)

エリア番号: 1 札幌 (チャンネル)	周波数	放送局名
AM 1	56.7kHz	NHK第1放送
2	74.7kHz	NHK第2放送
3	128.7kHz	北海道放送
4	144.0kHz	札幌テレビ放送
FM 1	80.4MHz	FM北海道
2	82.5MHz	FMノースウェーブ
3	85.2MHz	NHK FM札幌
4	88.2MHz	NHK FM香雪
TV 1	1 ch	HBC北海道放送
2	3 ch	NHK総合テレビ
3	5 ch	STV札幌テレビ放送
4	12 ch	NHK教育テレビ

エリア番号: 2 仙台	周波数	放送局名
AM 1	89.1kHz	NHK第1放送
2	108.9kHz	NHK第2放送
3	126.0kHz	東北放送
FM 1	77.1MHz	FM仙台
2	82.5MHz	NHK FM仙台
TV 1	1 ch	東北放送
2	3 ch	NHK総合テレビ
3	5 ch	NHK教育テレビ
4	12 ch	仙台放送

エリア番号: 3 北関東	周波数	放送局名
AM 1	59.4kHz	NHK第1放送
2	69.3kHz	NHK第2放送
3	81.0kHz	FEN
4	95.4kHz	TBS
5	113.4kHz	文化放送
6	119.7kHz	茨城放送
7	124.2kHz	ニッポン放送
8	153.0kHz	栃木放送
FM 1	76.4MHz	FM栃木
2	78.8MHz	放送大学
3	80.0MHz	TOKYO FM
4	80.3MHz	NHK FM宇都宮
5	81.6MHz	NHK FM前橋
6	83.2MHz	NHK FM水戸
7	86.3MHz	FM群馬
TV 1	1 ch	NHK総合テレビ
2	3 ch	NHK教育テレビ
3	4 ch	毎日テレビ
4	4 ch	ABC朝日テレビ
5	8 ch	群馬テレビ
6	10 ch	群馬テレビ
7	12 ch	テレビ東京

エリア番号: 4 南関東	周波数	放送局名
AM 1	59.4kHz	NHK第1放送
2	69.3kHz	NHK第2放送
3	81.0kHz	FEN
4	95.4kHz	TBS
5	113.4kHz	文化放送
6	124.2kHz	ニッポン放送
7	142.2kHz	ニッポン放送
FM 1	76.1MHz	FMインターフェーズ
2	78.0MHz	FMサウンド千葉
3	78.6MHz	FM富士
4	79.5MHz	FM埼玉
5	80.0MHz	TOKYO FM
6	81.3MHz	FMジャパン
7	82.5MHz	NHK FM東京
8	84.7MHz	横浜FM
TV 1	1 ch	NHK総合テレビ
2	3 ch	NHK教育テレビ
3	4 ch	日本テレビ
4	6 ch	TBSテレビ
5	8 ch	フジテレビ
6	10 ch	テレビ朝日
7	12 ch	テレビ東京

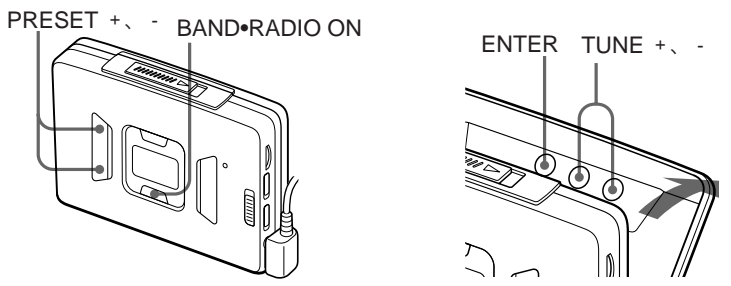
エリア番号: 5 名古屋 (チャンネル)	周波数	放送局名
AM 1	72.9kHz	NHK第1放送
2	90.9kHz	NHK第2放送
3	105.3kHz	CBC中部日本放送
4	133.2kHz	東海ラジオ
5	143.1kHz	岐阜テレビ
FM 1	77.8MHz	FM名古屋
2	78.9MHz	FM三重
3	80.7MHz	FM愛知
4	81.8MHz	NHK FM津
5	82.5MHz	NHK FM名古屋
6	83.6MHz	NHK FM岐阜
TV 1	1 ch	東海テレビ
2	3 ch	NHK総合テレビ
3	5 ch	CBC中部日本放送
4	9 ch	NHK教育テレビ
5	11 ch	名古屋テレビ

エリア番号: 6 大阪	周波数	放送局名
AM 1	55.8kHz	ラジオ関西
2	66.6kHz	NHK第1放送
3	82.8kHz	NHK第2放送
4	100.8kHz	ABC朝日放送
5	114.3kHz	KBS京都
6	117.9kHz	毎日放送
7	131.4kHz	ラジオ大阪
8	143.1kHz	和歌山放送
FM 1	76.5MHz	関西インターメディア
2	80.2MHz	FM802
3	82.8MHz	NHK FM京都
4	85.1MHz	FM大阪
5	86.5MHz	NHK FM神戸
6	88.1MHz	NHK FM大阪
7	89.4MHz	FM京都
8	89.9MHz	FM兵庫
TV 1	2 ch	NHK総合テレビ
3	4 ch	毎日テレビ
4	4 ch	ABC朝日テレビ
5	8 ch	関西テレビ
6	10 ch	読売テレビ
7	12 ch	NHK教育テレビ

エリア番号: 7 広島	周波数	放送局名
AM 1	70.2kHz	NHK第2放送
2	91.8kHz	山口放送
3	107.1kHz	NHK第1放送
4	111.6kHz	南海放送
5	135.0kHz	中国放送
6	157.5kHz	FEN
FM 1	78.2MHz	広島FM
2	88.3MHz	NHK FM広島
TV 1	3 ch	NHK総合テレビ
2	4 ch	中国放送テレビ
3	7 ch	NHK教育テレビ
4	12 ch	広島テレビ

\*東京 - 博多間の新型車両の列車のみ (2階建て車両とグリーン車を除く)

### □ 手動で受信して記憶させる(マニュアルメモリー)



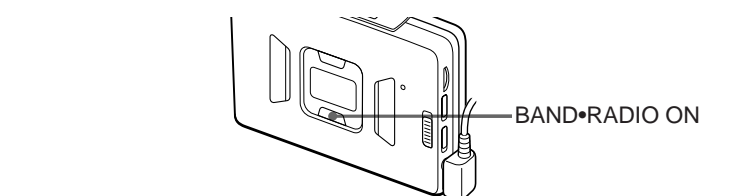
- 記憶させたい周波数を受信する「自分で周波数を合わせる」をご覧ください。
- ENTERボタンを押して周波数表示、「PRESET」表示とプリセット番号表示を点滅させる
- 表示の点滅中にPRESET＋または－ボタンを繰り返し押して記憶させたいプリセット番号を選び
- このときTUNE＋、－ボタンを押して周波数を変えることもできます。
- 表示の点滅中にENTERボタンを押すこれで、受信中の放送局が、選んだプリセット番号に記憶されました。
- PRESET＋または－ボタンを押してプリセット番号を選んで受信する

放送局の記憶を消すには

上の手順と同様に操作します。まず、消したい放送局のプリセット番号を選んで受信します。次にENTERボタンを押して周波数表示を点滅させてから、TUNE＋または－ボタンを繰り返し押しして「- - - -」を表示させます。ENTERボタンを押して記憶させると、選んだ放送局の記憶は消えます。\*「- - - -」は最大周波数あるいは最小周波数の次に表示されます。

### □ 自分用のエリアに保存する(エリア11)

「自動で受信して記憶させる」、「手動で受信して記憶させる」で記憶させた放送局は、ASPボタンを押したり、「自分でエリアを合わせる」でエリア番号を無効にするると消えてしまいます。記憶させた放送局を消したくないときは、保存用のエリア(エリア11)に保存しておくことができます。

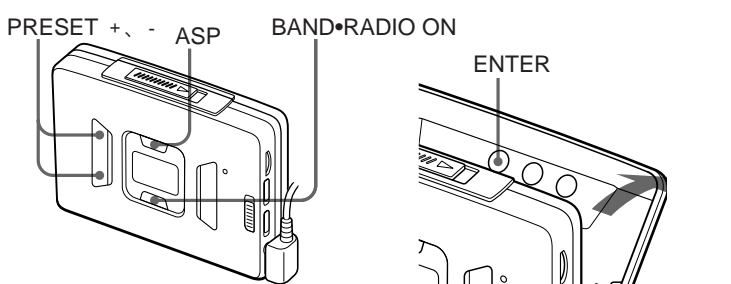


- BAND・RADIO ONボタンを押してラジオをつける
  - 「COPY11」表示が出るまでBAND・RADIO ONボタンを押したまににする
- 現在記憶されているAM、FM、TVの放送局が、エリア11に保存されま
- す。保存された放送局は、次に別の記憶を保存するまでは、消えることはありません。

エリア11を呼び出すには

ラジオがついているときに、ENTERボタンを押して、周波数表示、「PRESET」表示とプリセット番号表示を点滅させます。BAND・RADIO ONボタンを2秒以上押して「AREA 1」表示を点滅させます。表示の点滅中にPRESET＋または－ボタンを繰り返し押しして「AREA11」を選び、ENTERボタンを押して決定します。

## 海外でラジオを聞く



- BAND・RADIO ONボタンを押してラジオをつける
- ENTERボタンを押して、周波数表示、「PRESET」表示とプリセット番号表示を点滅させる
- 「AREA 1」表示が点滅するまでBAND・RADIO ONボタンを押し続ける
- 表示の点滅中にPRESET＋または－ボタンを繰り返し押して「USA」または「Eur」表示を選び、ENTERボタンを押す「87.50MHz PRESET 1」という表示が出て、受信範囲は下記のようになります。

使う地域	選ぶエリア番号	受信周波数
アメリカ合衆国、カナダ	USA	FM: 87.5 - 108MHz AM: 530 - 1,710kHz
中南米諸国		
ヨーロッパ、その他	Eur	FM: 87.5 - 108MHz AM: 531 - 1,602kHz

- 「1」の表示が「A」に変わるまでASPボタンを押し続ける その場所で受信できるAM、FMの放送局を自動的に記憶します。
- BAND・RADIO ONボタンを繰り返し押ししてAMまたはFMを選び、PRESET＋または－ボタンでプリセット番号を選んで受信する

手動で受信するには

おもて面の「自分で周波数を合わせる」をご覧ください。

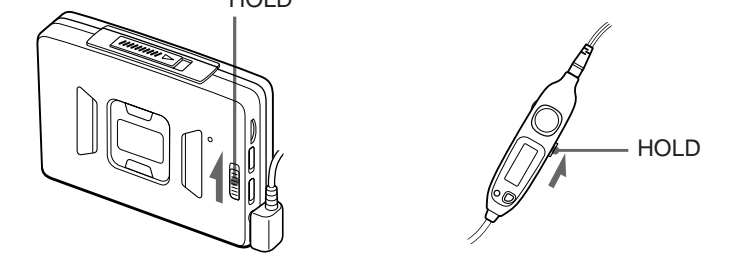
手動で記憶させるには

左記の「手動で受信して記憶させる」をご覧ください。日本の周波数に戻すには

上の手順にしたがって操作し、手順3のあとでENTERボタンを押します。それからASPボタンを押してください。

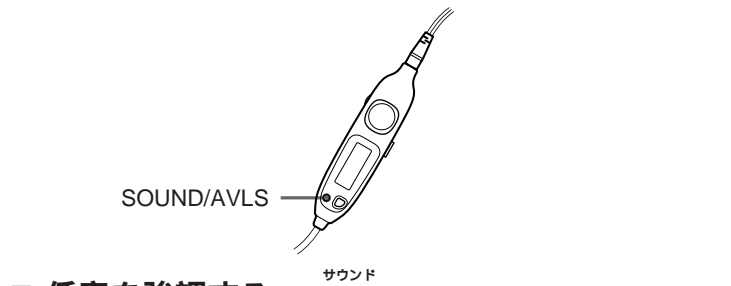
### ▶その他の機能を使う

## 誤操作を防ぐ(ホールド機能)



本体またはリモコンのHOLDスイッチを矢印の方向にずらして、それぞれの誤操作を防ぎます。

## 好みの音に調節する



#### □ 低音を強調する (SOUND)

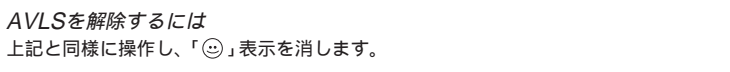
リモコンのSOUND/AVLSボタンを繰り返し押します。押すごとに次のように切り換わります。

表示音質	表示なし通常の音質	→	MB低音を強調	→	GRV低音をより強調
------	-----------	---	---------	---	------------

GRV(グループ)にしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、MB(メガベース)または表示なしにしてお聞きください。

### □ 音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS - オート・ボリューム・リミッター - システム・快速音量)

リモコンのSOUND/AVLSボタンを2秒以上押して、「◎」を表示させます。AVLS使用中に、低音が強調された曲で音が波打つように聞こえるときは、音量を下げて使います。



AVLSを解除するには上記と同様に操作し、「◎」表示を消します。

*SOUND、AVLSの設定は電池を交換するまで記憶されています*電池を交換すると、解除されます。

### ▶電源

## 乾電池・充電式電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、本体前面のBATTランプが暗くなり、テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなります。乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電し直して使います。

乾電池は持続時間の長いアルカリ電池の使用をおすすめします。

電池の持続時間		
使用電池	テープ再生時	ラジオ受信時
充電式ニカド電池NC-6WM (100%充電にて)	約10時間	約 9時間
ソーニアルカリ乾電池LR6 (WM)	約36時間	約29時間
充電式ニカド電池とソーニアルカリ乾電池の併用	約45時間	約36時間
ソーニ乾電池R6P (SR)	約10時間	約 9時間

ご注意

- 電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

## コンセントにつないで使う

- 乾電池ケースを本体に取りつける 充電式電池が入っていたら取り出してください。
- 別売りのACパワーアダプターAC-E15L(日本国内用)、またはAC-E15HG(海外用)を乾電池ケース側面のDC IN 1.5Vジャックにつなぐ
- ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ

付属のヘッドホンについて
電源を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎず、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところで音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができくらしい音量を目安にしてください。

- この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E15LまたはAC-E15HG(極性統一形プラグ・EIA規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- AC-E15HGは、お買い上げになる地域により仕様異なります。使用する地域の電源電圧やプラグの形状をお確かめのうえ、お買い求めください。



極性統一形プラグ

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外では保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

## ▶その他

## お手入れ

よい音でテープを聞くために
10時間程度使ったら、別売りのクリーニングテープ(CHK-1)でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。クリーニングテープは指定のものをお使いください。他のクリーニングテープを使うと故障の原因となることがあります。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきます。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

## 使用上のご注意

充電・充電式電池について

- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- 充電が終わったら、早めに充電器をコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- 充電中は充電器や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- 充電式電池を持ち運ぶときは、付属の充電式ケースに入れてください。ケースに入らずに、キーホルダーなどの金属類と一緒にポケットなどに入れてると、電池の+と-がショートして危険です。

日本国内での充電式電池の廃棄について

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

**Ni-Cd**
この製品は、ニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にゼロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

海外での充電式電池の廃棄について
各国の法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っばらなくてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ(60 以上)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気帯びたものの近く。
  - ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ(40 以上)や低いところ(0 以下)では液晶表示が見にくくなったり、表示の変りかたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- 長い間本機を使わなかったときは、お使いになる前に数分間再生状態にして空回ししてください。
- 長時間テープについて90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。

- ヘッドホンについて
付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎず、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところで音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができくらしい音量を目安にしてください。
- リモコンについて
付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで本機の操作はできません。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外では保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

## ▶その他

## 故障かな?

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
カセットがたが開かない	再生中にOPENつまみをずらした。	テープを止めてからOPENつまみをずらす。
雑音が入ることがある	再生中に電源をはずしたり電池が消耗してしまったり。近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	電源を入れ直し、消耗した電池は新しいものと交換する。
テープ再生中に勝手に早送りしてしまう	ブランクスキップが働いている。	本体側面のBL SKIPスイッチをOFFにする(「いろいろなる聞きかたをする」参照)。
ASPを押しても聞きたい局が呼び出されない	受信状態が悪いところにいる(電波が弱いところにいる、近くに放送局があるなど)。	・手動で呼び出す(「自分で周波数を合わせる」参照)。
音量が大きくなりすぎる	AVLSが働いている。	・手動で記憶させる(「放送局を自分で設定する」参照)。
リモコンの表示がおかしい	リモコン表示窓の「◎」を消す(「好みの音に調節する」参照)。	・手動で記憶させる(「放送局を自分で設定する」参照)。

音量が大きくなりすぎる
AVLSが働いている。
リモコン表示窓の「◎」を消す(「好みの音に調節する」参照)
リモコンの表示がおかしい

## 主な仕様

カセットプレーヤー部・共通部	
トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲	□ NR OFF時 30～18,000 Hz (EIAJ)*
出力端子	ヘッドホンジャック (専用リモコンジャック) 1個 <p>負荷インピーダンス 8～300</p>
実用最大出力 (DC時)	3 mW + 3 mW (EIAJ 32 )
電源	DC 1.5 V <p>充電式電池 (付属：NC-6WM、1.2 V、600 mAh、Ni-Cd)、単3形乾電池 1個</p>

電池持続時間 (EIAJ)
乾電池、充電式電池の持続時間については「電源」をご覧ください。乾電池は、持続時間の長いアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

最大外形寸法	約108.7 × 80.0 × 23.5 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	本体 約150 g <p>ご使用時 約210 g (充電式電池NC-6WM、テープC-60HF含む)</p>

ラジオ部	
受信周波数 (日本国内)	FM (ステレオ)：76.0～90.0MHz <p>AM (モノラル)：531～1,710kHz</p> <p>TV (モノラル)：1～12ch</p>

- 別売リアクセラー
AC/パワーアダプター AC-E15L (日本国内用)、AC/パワーアダプター AC-E15HG (海外用)、充電式ニカド電池 NC-6WM、クリーニングテープ CHK-1、マイクロプラグ付きイヤールシーバー(ヘッドホン) MDR-E848MP、MDR-E868MP、MDR-E847MP、カーバッテリーコード DCC-E215

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

\* EIAJ (日本電子機械工業会) 規格による測定値です。

## 保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも具合が悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニ - ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニ - サービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

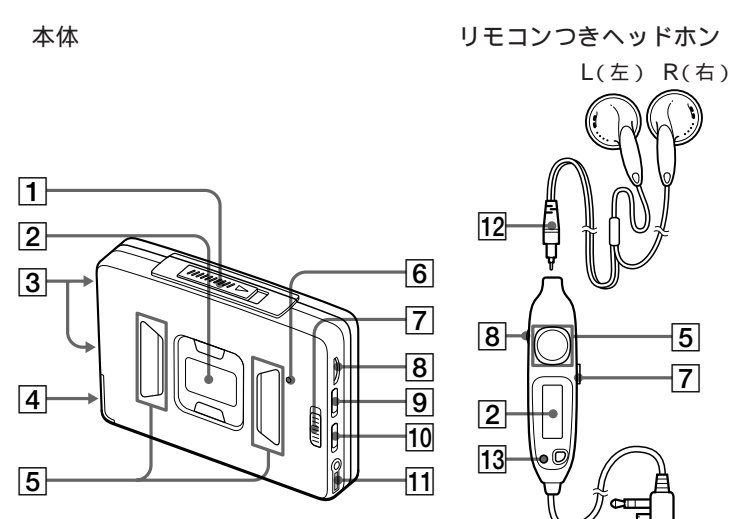
部品の保有期間について
当社ではカセットプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ 海外での保証とアフターサービスについて ・保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。 ・海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。	
---	--

<p>ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35</p> <p>お問い合わせはお客様ご相談センターへ</p> <p>●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111</p> <p>Downloaded from www.Somanuals.com. All Manuals Search And Download.</p>	
--	--

## 各部のなまえ

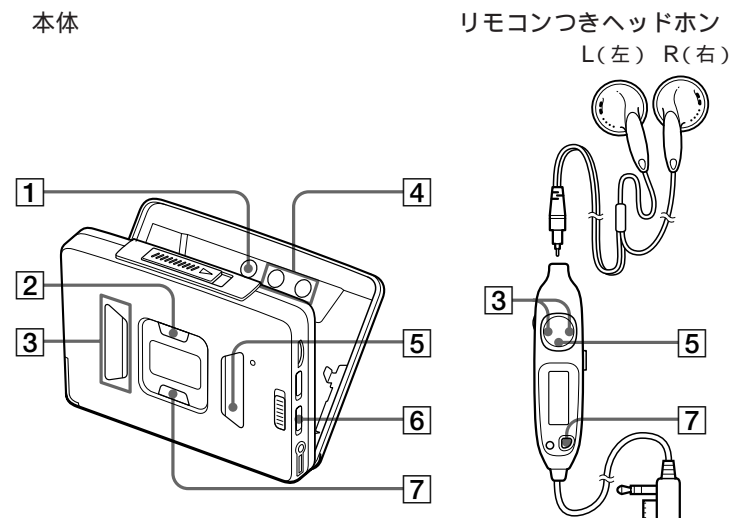
### カセットプレーヤー部・共通部



- OPEN (カセットがた開け) つまみ
- 液晶表示窓
- 乾電池ケース用接点
- 充電式電池入れ
- テープ操作ボタン
- BATT (電池残量表示) ランプ
- HOLD (誤操作防止) スイッチ
- 本体：VOLUME (音量調節) つまみ

リモコン：VOL (音量調節) つまみ
- ↵ (テープ走行方法切り換え)・BL SKIPスイッチ
- (DOLBY) NRスイッチ
- ◻ (REMOTE (ヘッドホン、リモコン) ジャック
- マイクロプラグ
- SOUND/AVLSボタン

### ラジオ部



- ENTER (入力) ボタン
- ASP (オート・ステーション・プリセット) ボタン
- PRESET +、- (放送局番号選択) ボタン
- TUNE +、- (選局) ボタン
- ・RADIO OFF (ラジオ電源切) ボタン
- FM ST/MONOスイッチ
- BAND (FM、AM、TV選択) ・RADIO ON (ラジオ電源入) ボタン

English

## ▶ Getting Started

### Choosing Power Sources

#### Using with a Dry Battery

Attach the battery case to the Walkman, and then insert one R6 (size AA) battery (supplied) with correct polarity.

#### Using with a Rechargeable Battery

- Before using the rechargeable battery, you must charge it with the supplied battery charger.

Japanese model: Full-charging takes about 2 hours. World model: 50%-charging takes about 30 minutes. Full-charging takes about 60 minutes (then the charge lamp goes off).
- Open the rechargeable battery compartment lid at the left side of the Walkman and insert the charged battery.

- Note
  - When the tape is playing, the cassette holder does not open.

To	Press
change the tape transport direction	◀・REPEAT (during playback)
stop the tape	■ (stop)
fast-forward the tape	FF・AMS (in the stop mode)
rewind the tape rapidly	REW・AMS (in the stop mode)
repeat the current track (Repeat Single Track function)	▶・REPEAT (2 seconds or more during playback)
find the beginning of the next track/succeeding 3 tracks (AMS function)	FF・AMS (once/repeatedly during playback)
find the beginning of the current track/previous 2 tracks (AMS function)	REW・AMS (once/repeatedly during playback)
play the same side from the beginning (Auto Rewind Play function)	REW・AMS (2 seconds or more in the stop mode)
play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	FF・AMS (2 seconds or more in the stop mode)

Sony R6P (SR)	
Playback	10
Radio/TV reception	9

Rechargeable NC-6WM Sony alkaline LR6 (WM) used together	
Playback	45
Radio/TV reception	36

*Notes*

- Remove the charger unit from the wall outlet as soon as possible after the rechargeable battery has been charged. Overcharging may damage the rechargeable battery.
- Only the NC-6WM rechargeable battery (supplied) can be used with the supplied battery charger.
- Be sure not to short-circuit the battery. When you carry it with you, use the supplied carrying case. If you do not use the carrying case, do not carry with other metallic objects such as keys in your pocket.

**Using on AC Power**
Before using the Walkman, remove the rechargeable battery if it is installed. Attach the supplied battery case and connect the AC power adaptor AC-E15L for Japan (not supplied) or AC-E15HG for overseas (not supplied) to the DC IN 1.5V jack of the battery case. Do not use any other AC power adaptor.

English

### ▶ Operating the Walkman

### Listening to the Radio

- Connect the micro plug firmly to the remote control. Then connect the remote control firmly to the ◻REMOTE jack and switch the Hold function off.
- Press BAND・RADIO ON to turn on the radio.
- Press ASP button until “AREA” will be displayed.
- After the FM frequency and “PRESET 1” is displayed, press BAND・RADIO ON to select AM, FM or TV.
- Press PRESET+/- to select the preset number you wish to listen to and adjust the volume using the volume dial.

- To turn off the radio, press ■・RADIO OFF. Next time you listen to the radio in the same area, you can skip step 3.
- To improve radio reception

If you are listening to FM or TV, extend the earphones cor for better reception. When you are listening to AM, rotate the unit horizontally for optimum reception.
- When you are listening to an FM stereo broadcast

Set the FM ST/MONO selector to ST (stereo). If the reception is poor, set it to MONO (monaural).

**What the ASP button does (ASP function)**
This Walkman stores the main stations of nine areas of Japan (Sapporo, Sendai, North Kanto, South Kanto, Nagoya, Osaka, Hiroshima, and Fukuoka and Shinkansen). You can tune in the originally stored stations by simply pressing the ASP button. If you are out of the areas when you press the ASP button, the Walkman searches and stores receivable stations automatically. If the ASP function does not store the desired station, or you want to customize the preset number of the stations, see *Tuning in the Radio Manually or Storing Radio Stations Manually and Receiving the Stations* as following.

### Tuning in the Radio Manually (Manual tuning)

Turn on the radio and select the desired band. Then press TUNE +/- . If you press and hold TUNE +/- for more than few seconds, the Walkman will start tuning the stations automatically.

- ▶ To emphasize bass sound —SOUND function
Press SOUND/AVLS repeatedly. With each press, the indications change as follows. MB：emphasizes bass sound GRV：emphasizes deeper bass sound
- No message: off (normal)

**To cancel the stored station**
Operate the unit according to the steps in *Storing Radio Stations Manually and Receiving the Stations* from step 1 to step 3. Instead of tuning in to a station, press and hold TUNE +/- until “----” is displayed. Then press ENTER while “----” is flashing.

### Using Other Functions

**To lock the controls —Hold function**
Set the HOLD switch to the direction of the arrow to lock the controls.

**To emphasize bass sound —SOUND function**
Press SOUND/AVLS repeatedly. With each press, the indications change as follows. MB：emphasizes bass sound GRV：emphasizes deeper bass sound

**To adjust the sound to an appropriate level —AVLS (Automatic Volume Limiter System) function**
To limit the maximum volume, press and hold SOUND/AVLS for two seconds or more. “◎” will appear in the display.

### Receiving Stations Outside Japan

- Press BAND・RADIO ON to turn on the radio.
- Press ENTER. The frequency numbers, “PRESET” and a preset number will flash in the display.
- Press and hold BAND・RADIO ON until “AREA 1” flashes in the display.

- While “AREA 1” is flashing, press PRESET+/- repeatedly to select either area “USA” (USA, Canada and Central and South America) or “Eur” (Europe and other countries) and then press ENTER.
- Press and hold ASP until “1” changes to “A”, to store the radio stations (both AM and FM) automatically. The Walkman starts searching and storing stations.
- Press BAND・RADIO ON to select the desired band and press PRESET+/- to select a station.

**Storing Radio Stations Manually and Receiving the Stations (Manual-Memory function)**

- Turn on the radio and select the desired band.
- Press ENTER. The frequency numbers, “PRESET” and a preset number will flash in the display.
- While the frequency numbers, “PRESET” and the preset number is flashing, tune in to a station you wish to store using TUNE +/- , and select a preset number on which you wish to store a station using PRESET+/- .
- While the frequency numbers, “PRESET” and the preset number are flashing, press ENTER.
- Tune in to a station using PRESET+/- .

*Notes*

- If you cannot complete step 3 or 4 while the indications are flashing, repeat from step 2.
- If you press automatically using ASP, the stations stored before will be erased.

**To cancel the stored station**
Operate the unit according to the steps in *Storing Radio Stations Manually and Receiving the Stations* from step 1 to step 3. Instead of tuning in to a station, press and hold TUNE +/- until “----” is displayed. Then press ENTER while “----” is flashing.

## Free Manuals Download Website

<http://myh66.com>

<http://usermanuals.us>

<http://www.somanuals.com>

<http://www.4manuals.cc>

<http://www.manual-lib.com>

<http://www.404manual.com>

<http://www.luxmanual.com>

<http://aubethermostatmanual.com>

Golf course search by state

<http://golfingnear.com>

Email search by domain

<http://emailbydomain.com>

Auto manuals search

<http://auto.somanuals.com>

TV manuals search

<http://tv.somanuals.com>